

総合講座「故郷探検」 中島閘門（こうもん） ～水のエレベーターを見学～

7月2日（水）午後、生徒27名（1～3年）と教員3名は中島閘門に向かいました。昭和の土木構造物として全国で初めて国の重要文化財に指定された施設で、船の通行につかう“水のエレベーター”が有名です。私たちは、環水公園を出発した「kansui」（富岩水上ライン）が閘室（こうしつ）に入り水位が下がったあと下流の岩瀬に向かう様子を見学しました。

【生徒の感想】

- ・ いきなり水が減って行ってびっくりした。操作室の方に「どういう構造で水を入れたり減らしたりしているのか」と尋ねたところ、トンネルで操作していると聞き、驚いた。
- ・ 富山の名所を知ることができてよかった。いつか乗船してみたい。
- ・ 何回も来たことがあるが改めて見学すると勉強になるところがたくさんあった。
- ・ 環水公園の近くに国の重要文化財があることを学ぶことができた。

